

# 脚本「ここだけの話」

脚本・原作 みつむらけいすけ  
イメージイラスト いようさぎ

HP応募作品  
オリジナル脚本

放送後音声公開可  
放送後脚本公開可

二〇一八年五月二十二日

## 登場人物

朝比奈 悠一 「あさひなゆういち」 (男) 会社員

吉岡 文乃 「よしおかふみの」 (女) OL

佐々木 薫 「ささき かおる」 (男) 洋食店の従業員

## 慷慨・あらすじ・プロット

舞台はとある洋食店。男はある日、見知らぬ女性から不吉なメールを受け取る。「あなたの秘密を知っています。バラされたくなかったら明日の午後二時に駅前の洋食店に来てください。」男が洋食店に来ると、メールの通り女が待っており、女は男の秘密をバラさない代わりに三億円を明日までに用意するよう要求してくる。男は怒るものの、抵抗することもできず…。果たしてバレては困る男の秘密とは？女の正体とは？そして、意外な繋がりを持つ店員の正体とは？

文字数 ●約3200文字

所要時間 ●12分

1.

(N)：ナレーション

「ここだけの話」脚本・原作\*みつむらけいすけ  
イメージイラスト・\*いようさぎ

登場人物

朝比奈 悠一「あさひなゆういち」 (男) 会社員

吉岡 文乃「よしおかふみの」 (女) OL

佐々木 薫「ささき かおる」 (どちらでも) 洋食店の従業員

N  
とある洋食店。平日の午後。

見知らぬ女性から不吉なメールを受け、

よびだされた朝比奈悠一。

既に女性(吉岡文乃)はひとりゆうがに座って

コーヒーを飲みながら読書をしている。

2.

悠一が洋食店に到着

SE (ドアベルの音)

佐々木 いらつしやいませ。何名様でしょうか？

朝比奈 連れが…あ、大丈夫です。見つけました。

朝比奈 あの。

吉岡 どうぞ。

朝比奈 え？

---

吉岡

お待ちしました。

朝比奈

どうぞ、お掛けになって下さい。

吉岡

いえ、結構。

朝比奈

立ったままお話しになるおつもりですか？

朝比奈

…。

佐々木

ご注文はお決まりでしょうか？

朝比奈

結構です。

吉岡

まあ、そう仰らずに。

朝比奈

すぐに帰りますので。

吉岡

よろしいんですか？

朝比奈

…。

吉岡

この方にも同じものを。

佐々木

かしこまりました。

吉岡

どうぞ、お掛けください。

朝比奈

メール、あなたですか。

吉岡

はい。

朝比奈

どういう意味ですか、あのメール。

吉岡

書いてあること、そのままの意味です。

朝比奈

そのままって…。

吉岡

いらして下さったということは、お願いを聞いて  
いただける、そう解釈してよろしいですか？

朝比奈

どういう意味ですか。

吉岡

それは、あなたが一番よく分かっていることでしょう。

朝比奈

…。

SE	(吉岡靴から封筒を取り出 写真をテーブルの上に 撒き散らす	
朝比奈		ちよつと。(急いで写真を回収する)
吉岡		何ですか？
朝比奈		誰かに見られたらどうするんですか。
吉岡		大丈夫ですよ。席がこれだけ離れていれば。
朝比奈		だからって。
吉岡		それに、これは証拠です。
朝比奈		証拠？
吉岡		メールの内容が嘘でないという事、
朝比奈		分かって頂けました？
吉岡		…。
朝比奈		これ、よく撮れてるでしょう。
SE		丁度お二人がホテルから…。
朝比奈		おい。
SE	(取り上げて写真を破く	
吉岡		無駄ですよ。データは別にありますから。
朝比奈		…。
吉岡		奥様と娘さんはどう思いますかね。
朝比奈		この写真を見たら。

---

朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
朝比奈

---

いくら？  
話が早いですね。  
早く終わらせたいから。  
それに、近所の人に見られたら。  
一応配慮はしましたでしょう。  
でも、この辺りは車でよく来るし。  
そうなんですか。  
で、いくら？  
さあ。  
は？  
もう少し話しましょうよ。  
それ言ったら終わっちゃう。  
あのなあ。  
じゃあ三億。  
え？  
三億。用意できます？  
三億なんて金…。  
明日までに。  
お前…。  
勘違いなさらないで下さいね。  
今のあなたの立場。  
だからって、明日までに三億なんて…。

朝比奈	SE
(テーブルの上にある写真 上に覆いかぶさる	
佐々木、やつてくる	
佐々木	ホットコーヒーです。
吉岡	ありがとうございます。
佐々木	…。
朝比奈	すみません。ぎっくり腰で今、動けないんです。
佐々木	大丈夫ですか？ 救急車…。
朝比奈	いえ結構。
	よくやるんです。少ししたら治りますので。
佐々木	はあ。
朝比奈	あ、あなた。
吉岡	はい？
朝比奈	ニヤニヤしてないで、受け取って下さい。
吉岡	何をです？
朝比奈	コーヒー。
吉岡	でも、勿体ない。
朝比奈	え？
吉岡	こんな愉快的な状況、なかなか見られませんから。
朝比奈	あなたね、こっちはぎっくり腰で辛いんですよ。
吉岡	でも、あなたホントはぎっくり腰じゃ…。

朝比奈

あー。手。手にください。受け取ります。

佐々木

よろしいですか？

底が熱くなっておりますので…。

朝比奈

あー。大丈夫です。…あ、程よい温かさです。

佐々木

恐れ入ります。

いえ、こちらこそ。

朝比奈

ご注文、以上でよろしいでしょうか。

吉岡

ええ。

佐々木

ご注文がございましたら、

ベルでお呼びください。

朝比奈

あなたね、この状況楽しんでるでしょ。

吉岡

もう懲りた？

朝比奈

え？

吉岡

まさか、ゆうちゃんが不倫するなんてね。

朝比奈

どういう…。

吉岡

「吉岡文乃」、覚えてない？

朝比奈

吉岡…。

吉岡

中二の時、同じクラスだった。

朝比奈

あ…え、文乃？

吉岡

そうだよ。さっきから言ってるんじゃない。

朝比奈

いや…：どういうつもりだよ。

吉岡

違うの。たまたま見かけてね。

朝比奈

どこで？

吉岡

だから、丁度二人でホテルから…。

朝比奈

あー。それで？

---

吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈  
吉岡  
朝比奈

---

何かただならぬ雰囲気だったから、  
怪しいと思って。  
それで、写真まで撮って？  
そう。で、千葉ちゃんに聞いたの。  
千葉ちゃんって…。  
中学の同級生のの。  
ああ。  
で、あの子森さんと結婚したでしょ。  
え、そうなの？  
そうだよ。  
式は？  
家族婚で済ませたみたい。  
だから私も呼ばれてないよ。  
そっか。  
で、森くんは大石くんと仲が良いから、  
そこから。  
うちの奥さんの写真見て、それで？  
そう。  
じゃあメールアドレスもそうやって？  
うん。  
どうしてそこまで。  
昔はよく遊んだ仲間じゃん。  
私見かけたとき嬉しかったんだ。  
うん。  
ちゃんと元気でやってるんだあって。



でもさ、あんな雰囲気じゃとても話しかけられないじゃない。

まあ。

久しぶりに会ったのに話しかけられないっておかしくない？

うん…。

それに。ウチの父親、外に女作って出てっちゃったでしょ？

そうだったの…？

話したことなかったっけ？

初耳。

でね、

ゆうちゃんにも娘さんがいるって聞いたら、なぜか居ても立ってもいらなくなっちゃって。

うん…。

でも、どうやってゆうちゃんに伝えていいかも分からなくて。

それで、こんなゆすりを掛けるみたいな。

ごめん。でも、浮気癖ってなかなか治らないって聞くし。

いや、うん。悪いのはおれだから。

不器用だよな。他の方法もあったと思うけど、私頭良くないから。

ううん。おれみたいな奴には、これくらいが丁度良いよ。

そうかな。

…文乃は？

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

吉岡

朝比奈

5.

朝比奈店をでる

吉岡

え？

朝比奈

変わったこととか。結婚は？

吉岡

…してるよ。

朝比奈

そっか。

吉岡

うん。

《間》

吉岡

仕事、大丈夫？ 抜け出して来たんでしょ？

朝比奈

あ。

吉岡

形はどうあれ、久しぶりにゆうちゃんに会えて良

かったよ。

朝比奈

おれも。話せて良かった。

吉岡

奥さんと娘さん、大事にね。

朝比奈

うん。ありがとう。これ、コーヒー代。

吉岡

いいのに。

朝比奈

三億に比べたら安いよ。

吉岡

そっか。

朝比奈

じゃあ、また。

吉岡

うん。またね。

佐々木

ありがとうございましたー。

S E

(朝比奈帰る)

ドアベルの音

佐々木ドリンクを一杯

吉岡の席に置く

---

吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木  
吉岡  
佐々木

---

え？  
サービスです。  
聞いてた？  
お客様のプライバシーに関する一切他言致  
しません。  
流石、一流のお店は違うね。  
恐れ入ります。…ただ。  
何？  
ただ、友人として一言言わせて頂けるのなら。  
どうぞ。  
三億でない方が良かったのではないかなと。  
他に、何て言えっというの。  
それは、  
あなたが一番よく分かってることでしょう。  
…。  
旧友の過ちを正す。  
そんな純粋な正義感だけには、  
残念ながら見えませんでした。  
失礼な店員。  
今は友人です。  
…言えないよ。  
…。  
言えるわけじゃないじゃん。  
でも、素直な気持ちに罪はありません。  
でも全て口にするのは正解じゃない。  
だとしても。

N

コーヒーを飲みながら読書をするその姿は数分前に比べて、どこか凜としている。

吉岡

…いいの。

佐々木

…。

吉岡

もっと早く言えたら良かったのにね。

佐々木

そんなこと…。

吉岡

もういいの。

佐々木

…。

吉岡

少し、大人になりすぎちゃったかな。

《間》

吉岡

ねえ。パフエ頂戴。

佐々木

パフエ？

吉岡

ジャンボパフエ。ほら、この店オリジナルの。

佐々木

でもあれは、四人前のもので…。

吉岡

あー。うるさい。いいから。甘いものが今は欲しいの。

佐々木

はい。

吉岡

その代わり、食べきれなかったら付き合っ

ね。

佐々木

え、でも…。

吉岡

私の友達なら、もっと心優しくあってもいいと思

うけど？

佐々木

…かしこまりました。

---

朝比奈 悠一 「あさひなゆういち」 十河圭祐  
吉岡 文乃 「よしおかふみの」 三好麻美  
佐々木 薫 「ささき かおる」 市原和憲  
ナレーション 吉田香里奈  
原作・脚本 みつむらけいすけ  
イメージイラスト いようさぎ  
選曲・効果 十河 圭祐